

沖縄の産業振興のあり方検討会

【検討経緯】

資料 3

(趣旨・目的)

沖縄は、インフラ整備に加え税制等の各種優遇措置が講じられ、産業面では観光産業をはじめIT産業やバイオ関連産業などにおいて、関連収入や雇用の拡大につながっているが、平均所得や労働生産性では全国最下位となっている。

こうしたことから、定量的データ等の分析により現状や課題を把握し、また、リーディング産業たる観光関連産業との相乗効果が見込めること、DXの普及拡大に伴い成長が見込めることのほか、沖縄の生産力、地域資源、技術力、産業集積度及び周辺環境等や国内外の関連市場動向などを踏まえ、成長可能性のある業種・業態及び今後の方向性について検討を行う。

第 1 回

○主要8産業分野のこれまでの取組、現状及び課題を整理

< 8 産業分野 >

- ・製造業
- ・情報通信関連産業
- ・医療・バイオ関連産業
- ・国際物流関連産業
- ・スポーツ・ヘルスケア関連産業
- ・環境・エネルギー関連産業
- ・観光関連産業
- ・金融関連産業

第 2 回・第 3 回

○観光産業に次ぐ産業のあり方を検討するため、現状の産業力や今後の国内外動向を踏まえ、以下の5分野・業種を選択

- 現状や課題を深掘りするため、生産規模、生産力、生産効率性等を分析。また、国内外の動向を踏まえた市場成長性などを分析
- 労働生産性が低い要因を検討

< 5 分野・業種 >

- ・製造業
- ・情報通信関連産業
- ・医療・バイオ関連産業
- ・スポーツ・ヘルスケア関連産業
- ・航空機整備事業

(主な意見)

- ⇒DXの普及拡大を加味すべき
- ⇒沖縄の主要産業たる観光産業との関連性を加味すべき

第 4 回

○労働生産性を主要な指標としたうえで、「観光関連産業との相乗効果」「DXの普及拡大に伴う成長」が見込めることなどを踏まえ、成長可能性の高い業種・業態を検討

(※以下、案)

- ・製造業
食料品製造業、半導体関連等の部品・部材の製造業
- ・情報通信関連産業
AIプログラミング等ソフトウェア業、情報セキュリティ業
- ・医療・バイオ関連産業
医療・健康データを利活用した医療機器製造や創薬関連等の開発
- ・スポーツ・ヘルスケア関連産業
スポーツコンベンション、ヘルスツーリズム、「スポーツ×(新たな技術・地域・多様な産業等)」の観点で行う取組、スポーツ・ヘルスケアサイエンス拠点の整備
- ・航空機整備事業
航空機整備事業関連クラスター形成

成長可能性の高い業種・業態の検討について

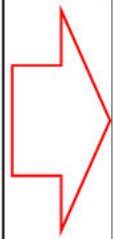
【視点1】

- リーディング産業たる観光関連産業との相乗効果が見込めること
- DXの普及拡大に伴い成長が見込めること



【視点2】

沖縄の生産力、
地域資源、技術力、
産業集積度、
周辺環境 等



【5分野・業種】

・製造業
・情報通
・医療・
・スポー
・航空機整備事業

■ 優位性 > 不利性
■ 成長可能性
などを分析・検証



【視点3】

国内外の関連市場
動向



成長可能性の高い業種・業態

今後の方向性